

草津町立草津中学校によるコマクサの復元・保護活動



吾妻森林管理署

森林技術指導官

中園 昭博

業務グループ

嶋田 香織

白根山系の高山植物を護る会 事務局長

湯田 六男

1. 背景及び目的



コマクサ畑で立派に成長したコマクサ
【写真-1】

現在、「高山植物の女王」と称されるコマクサは、吾妻森林管理署管内の本白根山に群生していますが、戦後、結核に効くという話が伝わり2～3年の間に根こそぎ採られてしまったり、山野草のブームで盗掘されたりと、本白根山のコマクサは絶滅の危機に瀕してきました。

この様なことから、コマクサの絶滅の危機を防ごうと、民間ボランティアによる、本白根山のコマクサの保護・復元を進める活動が行われてきました。

2. 中学生によるコマクサの復元・保護活動

歴代の草津中学校の一年生が行ってきた本白根山のコマクサの保護・復元活動における取組を紹介します。

草津中学校が、昭和56年から学校行事としてコマクサ保護・復元に参加することとなったのは、「本白根山のコマクサ保護・復元を進める会」と協同してロープ張りや看板の補修・設置、コマクサの移植を行ってきました。

【写真-2】



当時の移植の風景【写真-2】

しかし、平成30年に本白根山が噴火し登山道等が立ち入り禁止となったことから、当面の間、本白根山にコマクサを移植することができなくなってしまいました。

そこで、当面の措置として、草津温泉スキー場のゲレンデ（天狗山山頂）の一角にコマクサ畑を設置し本白根山に移植することを目的に毎年コマクサの植栽をはじめました。コマクサの苗は、地元の山口さんが自宅で育てた苗を提供していただいています。また、植栽にあたっては、環境省、白根山系の高山植物を護る会、吾妻森林管理署が、ボランティアとして協力しています。

【写真-1、3、4】



自宅で育てた苗で、植栽方法を指導する山口和雄氏
(令和4年)【写真-3】



草津温泉スキー場の天狗山山頂にあるコマクサ畑で植栽する一年生(令和4年)
【写真-4】

3. 今後に向けて期待するもの

最後に、自然を守りコマクサの開花した風景を守るため、本白根山の立入規制が解除され、再びコマクサを移植し復元・保護活動を継続することができるよう願っています。

参考文献

草津の自然を愛する会 設立30年記念誌(1981年発行)